

浜の活力再生広域プラン  
(第2期)

## 1 広域水産業再生委員会

組織名	兵庫県広域水産業再生委員会 瀬戸内海養殖業広域部会
代表者名	部会長 田沼 政男（兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事長）

広域委員会の 構成員	兵庫県地域水産業再生委員会30部会 神戸市漁協部会、明石浦部会、林崎部会、江井ヶ島部会、東二見部会、西二見部会、播磨町地区部会、東播磨部会、高砂地区部会、姫路市漁協部会、家島部会、坊勢部会、室津部会、相生漁協部会、赤穂市部会、由良町漁協部会、洲本炬口漁協部会、津名漁協部会、仮屋漁協部会、森漁協部会、富島漁協部会、浅野浦漁協部会、育波浦漁協部会、室津浦漁協部会、一宮町漁協部会、五色町漁協部会、湊漁協部会、南あわじ漁協部会、福良漁協部会、南淡漁協部会 岩見漁業協同組合 兵庫県漁連、なぎさ信漁連、兵庫県
オブザーバー	(株)東海屋

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	〔地域の範囲〕 神戸市、明石市、播磨町、加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、相生市、赤穂市、淡路市、洲本市、南あわじ市 〔漁業の種類〕 ノリ養殖、カキ養殖、ワカメ養殖、魚類養殖、アサリ養殖、その他貝類養殖、等 482 経営体（平成30年11月時点）
---------------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

<p>兵庫県瀬戸内海側では、地域の自然環境や海域特性に応じて、ノリやワカメ等の藻類養殖、カキやアサリ等の貝類養殖、トラフグやローカルサーモン、サバ等の魚類養殖が営まれている。</p> <p>養殖業は、漁場の収容力に合わせて施設を設置し、人為的に種苗を管理、育成するため、漁船漁業と比べて比較的安定した生産が可能であるが、本県の主力であるノリ養殖やカキなどの貝類養殖は、無給餌養殖であり、海中の栄養塩濃度やプランクトン量等の漁場環境に大きく左右される。</p> <p>また、養殖期間中は養殖施設が設置されていることから、区画漁業権内では漁船漁業の操業を抑止することができ、水産資源の保護育成の役割を果たしている。</p> <p>県養殖業生産額の8割を占めるノリ養殖においては、近年の生産量は6.8万ト(17.0億枚)、</p>
--

生産金額は 200 億円である。本県のノリは、主に業務用として流通しており、兵庫県産でなく瀬戸内産として表示されることが多いため、一般消費者における兵庫県産ノリの認知度は低く、全国有数の生産量を誇る兵庫県産であることが単価に反映されにくい。

また、海域が慢性的な栄養塩不足の状態にあり、ノリ・ワカメの品質や生産枚数等に大きな影響を与えている。

加えて、ノリ養殖の経営面では、刈取船や運搬船等の漁船、乾燥機や上屋等の加工施設等の設備投資が高額になっているとともに、燃油代や機械整備費、ノリ網代、水道光熱費等経費が高騰しており、利益の減少に繋がっている。特にノリ養殖は燃油をはじめ漁業資材にも石油製品を多く利用していることから、国際情勢により変動する原油価格が、漁業経営に大きく影響を与えている。

一方、県養殖生産金額の約 2 割を占めるカキは、大粒で加熱しても縮みにくいのが特長であり、1 年余りで出荷サイズとなることから、高品質な一年カキとして市場の評価を受け、生産も比較的順調に推移している。

しかし、カキ種苗の大半を他県産に依存しており、種苗の品質の良し悪しや、種苗の入手量や価格により生産量や生産額が左右される。

更に、近年は生産海域で貝毒が発生するなど、貝類養殖経営に関する不安要素が増えている。

以上のように、養殖業においては漁業経営に不安要素を抱えており、少子高齢化により漁業者の高齢化や後継者不足が進む状況下で若年層が漁業に将来を見出すためには、これらの課題を早急に解決していく必要がある。

【参考：兵庫県瀬戸内海区の養殖業の生産量と生産金額】

	10 年前 (H20 年度)	5 年前 (H25 年度)	現在 (H30 年度)
ノリ養殖業	32,864 トン	45,879 トン	68,225 トン
	821,589 千枚	1,146,979 千枚	1,705,627 千枚
	6,941 百万円	9,027 百万円	20,041 百万円
カキ養殖業	3,952 トン	8,903 トン	8,652 トン
	1,029 百万円	2,293 百万円	3,005 百万円
養殖業計	39,074 トン	58,049 トン	81,231 トン
	9,126 百万円	12,745 百万円	24,444 百万円

※「兵庫農林水産統計年報」より

※ノリ養殖業の生産量は生換算重量、カキ養殖業の生産量は殻付き重量

(2) その他の関連する現状等

・本格的な人口減少社会の到来

県の総人口は 2009 年（平成 21 年）の 560 万人をピークに減少に転じ、2040 年（令和 12 年）には現在より約 93 万人少ない 467 万人（17%減）となる見込み。また、高齢者の比率が高まり、2040 年には 65 歳以上人口比率が 36%（2010 年＝23%）、75 歳以上人口比率が 21%（2010 年＝11%）となる見込み。

・進む人口の偏在化

神戸、阪神地域などの都市部を含めて、県内全域で人口が減少しつつある。人口が減少する速度や割合は地域差が大きく、特に但馬、西播磨地域では2040年には現在の6割を切る水準にまで人口が減少する市町が生じることが予測されている。また、14歳未満の年少人口は全ての市町で減少する一方、65歳以上の老年人口は阪神地域などでは現在の約2倍にまで増加するなど、人口の高齢化、偏在化が進むとも予測されている。

・津波・高潮防災対策の推進

津波や高潮による被害から漁業者や地域住民の生命・財産を守るため、老朽化等により機能が低下した防潮堤などの海岸保全施設の機能強化や、浸水の恐れがある地域の海岸保全施設の新設及び改良などの津波・高潮防災対策が進んでいる。特に近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震等による津波対策については、「津波防災インフラ整備計画」に基づき計画的に実施している。

### 3 競争力強化の取組方針

#### (1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

##### ①前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

## ②今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

### 1. 基本方針

平成 26 年 3 月に兵庫県地域水産業再生委員会及び各部会を設置し、漁業所得の向上を目指して「浜の活力再生プラン」計 36 プランを策定した。現在、魚価の向上対策や養殖業の振興、漁場の回復、漁業後継者の育成など漁業収入向上のための取組と、漁業経営セーフティネット構築事業の加入促進や効率的な操業体制の確立を目指した省エネ操業の推進や省エネ機器の導入などの漁業コスト削減のための取組を実施している。

本プランは、これら既存の「浜の活力再生プラン」の取組を基礎として、県内養殖業者と各 JF、JF 兵庫漁連、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会、県行政・研究機関及び流通販売業者等が連携して広域的な取組を展開することで、両プランの相乗効果による養殖業者の漁業所得向上及び本県瀬戸内海側養殖業の振興を図る。

#### 【流通販売強化】

#### ①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大

- ・県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等の水産加工品を JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的に P R し、販売促進・消費拡大を図る。
- ・県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へ P R し、消費拡大を図る。
- ・カキについては、県内での知名度は上がってきたが、首都圏を含む大都市における流通業者や消費者への知名度が低いことから、播磨灘産のカキを統一ブランド（播磨灘産 1 年牡蠣 プライドフィッシュ）で P R し、全国的な知名度向上と販売促進・消費拡大を図る。

#### ①-2 ノリやカキ等の商品開発と販売

- ・ノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等の消費拡大を図るため、新商品の開発に取り組むとともに試験販売を行う。
- ・特に、カキの消費拡大を図るため、現在の垂下式養殖で生産するむき身及び殻付きカキを基幹としながら、生食可能海域で生産する優位性を活用し、シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートの確保を進める。また、県産カキを用いた加工品の開発に取り組むとともに、試験販売を行う。

#### ①-3 価格形成力の高い出荷体制の構築（出荷用施設整備など）

- ・県産ノリやワカメ、カキ、アサリ、トラフグ、サーモン等の国内競争力の強化に向けて、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に必要な施設の整備や改修、更新を行う。

#### ② ノリ・カキの輸出

- ・県産ノリを輸出業者へ販売し、北米やEU、ブラジル等海外への販路拡大を図る。
- ・県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国等海外への販路拡大を図る。

### ③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及

- ・県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、平成11年にJF兵庫漁連が策定したのり養殖生産加工マニュアルの更新を行い、ノリ養殖漁業者に対して指導を図る。
- ・また、JF兵庫漁連は、従来のノリと差別化を図るため、昔ながらの粗びき製法で熟成時間を抑制し旨味をアップさせた「むかしノリ」の生産マニュアルの普及を図る。

### 【機能再編、競争力強化】

#### ④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進

- ・安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。
- ・ノリ糸状体の培養や採苗等に利用するJF兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、県産ノリの品質の安定化と採苗等の作業の効率化を図る。
- ・IT技術を利用した新たな出荷体制の構築やノリの品質検査の合理化・効率化について検討する。

#### ⑤ カキ養殖の持続的発展を目指した対策の推進

- ・安定して種苗を確保する体制を整えるため、自家採苗技術の普及を進める。
- ・漁場環境を悪化させることなく、高品質なカキを持続的に生産するため、適正な養殖密度を守った養殖を推進するとともに、漁場環境の保全に必要な対策を実施する。

#### ⑥ 新たな養殖技術の普及及び新品種の導入

- ・アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモンの養殖方法等の新たな養殖技術の普及を図る。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。
- ・漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。
- ・コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善のほか、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティネット構築事業の推進を図る。
- ・漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。
- ・その他、競争力強化に関する取組を行う。

### 【漁場環境改善】

#### ⑧ 漁場環境の改善に関する取組

- ・漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。
- ・豊かな海づくりに向けて、「藻場・干潟等の再生」や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「下水処理場等の栄養塩管理運転の推進」、「森づくり」などの水産多面的機能発揮活動を推進する。
- ・特にノリ・ワカメの色落ち対策として栄養供給に加え、海底耕耘を実施し、底層栄養塩の利活用や底質改善等を図る。

**【機能分担・連携】**

**⑨ 機能分担・連携に関する取組**

養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等に基づき、より効率的な利用を図るようため検討し、所用の整備を行う。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

①前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

②今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

**① 大輪田塾等による研修の実施**

・「大輪田塾」の活用や研修会等の開催により、本県水産業の中核的担い手を養成する。

**② 新規漁業就業者の育成**

・新規漁業就業者総合支援事業（国庫補助等）等を活用し、新規漁業就業者の確保に努める。

**③ 漁船等の更新**

・中核的漁業者等が本プランに基づき漁業所得向上に取り組むため、漁船リース事業、機器等導入事業、新リース事業、漁業施設貸与事業（県補助）等を活用し、必要な中古漁船又は新造漁船、養殖設備の導入を図る。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・ 漁場の生産力に見合った計画生産体制の構築が図られるよう、各区画漁業権行使規則において施設の規模、数量等を定め、その内容を遵守する。
- ・ 各漁協単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。

(4) 具体的な取組内容（年度ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和3年度）

取組内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><u>①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的に PR し、販売促進・消費拡大を図る。</li><li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へ PR するとともに消費拡大を図る。</li></ul> <p><u>①-2 ノリやカキ等の新商品開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ノリ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した味付け海苔、バラ干し海苔、佃煮などの商品を販売する。また、新たな商品の開発に取り組むとともにそれら新商品の試験販売を行う。</li><li>・カキ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースやカキのやわらか煮などの商品を販売する。また、新たなカキ加工品の開発に取り組むとともにそれら新商品の試験販売を行う。</li><li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組む。</li></ul> <p><u>①-3 価格形成力の高い出荷体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養殖業者及び養殖関係 JF が連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、ノリ全自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。【2】【3】</li></ul> <p><u>② ノリ・カキの輸出 【1】</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・JF 兵庫漁連とその子会社の(株)東海屋が中心となり、県産ノリをEU・ブラジル等へ輸出する。</li><li>・JF 兵庫漁連が中心となり、県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国へ輸出する。</li><li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出先の調査を行う。</li><li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出向け製品について検討する。</li></ul> <p><u>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・JF 兵庫漁連は、県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、ノリ養殖業者への「のり養殖生産加工マニュアル」の普及に努める。</li><li>・JF 兵庫漁連は、「むかしノリ」生産方法のマニュアルの普及を図る。</li></ul>
------	---



**【機能再編、競争力強化】**

**④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】【13】**

- ・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。
- ・JF 兵庫漁連は、ノリの種（糸状体）の培養や採苗等に利用する JF 兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、IT 技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷※などの新たな出荷体制について検討する。

※伸ばし出荷：養殖業者の生産する干海苔は、全形 10 枚を重ねて折り曲げ、紙の帯で束ねた状態で出荷箱に詰めて出荷しているため、納入先の加工業者は焼きや味付け加工を行うにあたり、曲げた海苔を伸ばす工程が必要となっている。このため、こうした古い慣習による出荷方法から、折り曲げず伸ばした状態で出荷する方法に変えることで、養殖業者と加工業者双方の省力化や作業の効率化を図る。

**⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進**

- ・カキ養殖業者、カキ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

**⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討**

- ・養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

**⑦ 競争力強化に向けた取組**

- ・養殖業者は、協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・養殖業者は、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】
- ・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。
- ・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

**【漁場環境改善】**

	<p>⑧ <u>資源管理や漁場環境の改善に関する取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、各 JF 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等を図る。【5】</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給を行う。</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善ため海底耕耘を実施する。【5】</li> </ul> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑩ <u>中核的担い手の育成・確保に関する取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF は、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【6】【7】【8】【9】【10】【12】</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</li> <li>【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業</li> <li>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</li> <li>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</li> <li>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</li> <li>【5】 水産多面的機能発揮対策事業</li> <li>【6】 新規漁業就業者総合支援事業</li> <li>【7】 漁業収入安定対策事業</li> <li>【8】 漁業経営セーフティーネット構築事業</li> <li>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</li> <li>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</li> <li>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</li> <li>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</li> <li>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</li> <li>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</li> </ul>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的に PR し、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へ PR するとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①-2 ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した味付け海苔、バラ干し海苔、佃煮などの商品を販売する。また、新たな商品の開発に取り組むとともにそれら新商品の試験販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースやカキのやわらか煮などの商品を販売する。また、新たなカキ加工品の開発に取り組むとともにそれら新商品の試験販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組む。</li> </ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF が連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、ノリ全自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリ・カキの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連とその子会社の(株)東海屋が中心となり、県産ノリをEU・ブラジル等へ輸出する。</li> <li>・JF 兵庫漁連が中心となり、県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国へ輸出する。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出先の調査を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出向け製品の開発を行う。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連は、県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、ノリ養殖業者への「のり養殖生産加工マニュアル」の普及に努めるとともに、更新を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、「むかしノリ」生産方法のマニュアルの普及を図る。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p>
-------------	--

④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】【13】

- ・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。
- ・JF 兵庫漁連は、ノリの種（糸状体）の培養や採苗等に利用する JF 兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、IT 技術の活用による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷など新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷のテストを行う。

⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

- ・カキ養殖業者、カキ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・養殖業者は、協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・養殖業者は、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】
- ・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。
- ・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

【漁場環境改善】

⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・養殖関係 JF は、各 JF 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等

	<p>の「栄養塩管理運転の推進」等を図る。【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給を行う。</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善ため海底耕耘を実施する。【5】</li> </ul> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑩ 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF は、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【6】【7】【8】【9】【10】【12】</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</li> <li>【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業</li> <li>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</li> <li>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</li> <li>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</li> <li>【5】 水産多面的機能発揮対策事業</li> <li>【6】 新規漁業就業者総合支援事業</li> <li>【7】 漁業収入安定対策事業</li> <li>【8】 漁業経営セーフティネット構築事業</li> <li>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</li> <li>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</li> <li>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</li> <li>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</li> <li>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</li> <li>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</li> </ul>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><u>①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的に PR し、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び兵庫県漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へ PR するとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><u>①-2 ノリやカキ等の新商品開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した味付け海苔、バラ干し海苔、佃煮などの商品を販売する。また、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースやカキのやわらか煮などの商品を販売する。また、新たなカキ加工品の開発に取り組むとともにそれら新商品の試験販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組む。</li> </ul> <p><u>①-3 価格形成力の高い出荷体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF が連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、ノリ全自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><u>② ノリ・カキの輸出 【1】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連とその子会社の(株)東海屋が中心となり、県産ノリをEU・ブラジル等へ輸出販売する。</li> <li>・JF 兵庫漁連が中心となり、県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国へ輸出する。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たに開拓した国へ輸出販売を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出向け製品を開発し輸出販売を開始する。</li> </ul> <p><u>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連は、県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、ノリ養殖業者への「のり養殖生産加工マニュアル」の普及に努めるとともに、更新を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、「むかしノリ」生産方法のマニュアルの普及を図る。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><u>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】【14】</u></p>
-------------	---

- ・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。
- ・JF 兵庫漁連は、ノリの種（糸状体）の培養や採苗等に利用する JF 兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、IT 技術の活用による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷など新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷のテストを行う。

#### ⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

- ・カキ養殖業者、カキ養殖関係 JF、 JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

#### ⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・養殖業者は、協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・養殖業者は、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】
- ・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。
- ・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

#### **【漁場環境改善】**

#### ⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・養殖関係 JF は、各 JF 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等を図る。【5】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給を行う。</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善ため海底耕耘を実施する。【5】</li> </ul> <p><b>【機能分担・連携】</b></p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>【中核的担い手】</b></p> <p>⑩ 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF は、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【6】【7】【8】【9】【10】【12】</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</li> <li>【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業</li> <li>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</li> <li>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</li> <li>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</li> <li>【5】 水産多面的機能発揮対策事業</li> <li>【6】 新規漁業就業者総合支援事業</li> <li>【7】 漁業収入安定対策事業</li> <li>【8】 漁業経営セーフティネット構築事業</li> <li>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</li> <li>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</li> <li>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</li> <li>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</li> <li>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</li> <li>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</li> </ul>



<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①-2 ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した味付け海苔、バラ干し海苔、佃煮などの商品を販売する。また、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースやカキのやわらか煮などの商品を販売する。また、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組むとともに、新たに開発した商品の試験販売を行う。</li> </ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF が連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、ノリ全自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリ・カキの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連とその子会社の(株)東海屋が中心となり、県産ノリをEU・ブラジル等へ輸出する。</li> <li>・JF 兵庫漁連が中心となり、県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国へ輸出する。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出先の調査を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出向け製品について検討する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連は、県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、「のり養殖生産加工マニュアル」の普及に努めるとともに、更新を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、「むかしノリ」生産方法のマニュアルの普及を図る。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくり</li> </ul>
-------------	--

に向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。

- ・ JF 兵庫漁連は、ノリの種（糸状体）の培養や採苗等に利用する JF 兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ ノリ養殖業者、ノリ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、IT 技術の活用による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷など新たな出荷体制に向けたテストを行う。

#### ⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

- ・ カキ養殖業者、カキ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。

#### ⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・ 養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・ 養殖業者は協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・ 養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・ 養殖業者は、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】
- ・ なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・ 養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。
- ・ 漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

#### 【漁場環境改善】

#### ⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・ 養殖関係 JF は、各 JF 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・ 養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等を図る。【5】
- ・ ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、海域の貧栄養化よ

	<p>って頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養塩供給を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善ため海底耕耘を実施する。【5】</li> </ul> <p><b>【機能分担・連携】</b></p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>【中核的担い手】</b></p> <p>⑩ 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF は、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。</li> </ul> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</p> <p>【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業</p> <p>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</p> <p>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</p> <p>【5】 水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>【6】 新規漁業就業者総合支援事業</p> <p>【7】 漁業収入安定対策事業</p> <p>【8】 漁業経営セーフティネット構築事業</p> <p>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</p> <p>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</p> <p>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①ー1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF 直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①ー2 ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係 JF 、JF 兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した味付け海苔、バラ干し海苔、佃煮などの商品を販売する。また、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースやカキのやわらか煮などの商品を販売する。また、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組むとともに、新たに開発した商品の試験販売を行う。</li> </ul> <p><b>①ー3 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF が連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、ノリ全自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。<b>【2】【3】</b></li> </ul> <p><b>② ノリ・カキの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連とその子会社の(株)東海屋が中心となり、県産ノリをEU・ブラジル等へ輸出をする。</li> <li>・JF 兵庫漁連が中心となり、県産のカキ製品等を輸出業者へ販売し、アジア諸国へ輸出をする。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たに開拓した国へ輸出販売を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、新たな輸出向け製品を開発し、輸出販売を開始する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF 兵庫漁連は、県産ノリの品質の向上及び統一化を図るため、「のり養殖生産加工マニュアル」の普及に努めるとともに、更新を行う。</li> <li>・JF 兵庫漁連は、「むかしノリ」生産方法のマニュアルの普及を図る。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくり</li> </ul>
-------------	---

に向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。

- ・ JF 兵庫漁連は、ノリの種（糸状体）の培養や採苗等に利用する JF 兵庫漁連のり研究所の施設を改修、整備し、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ ノリ養殖業者、ノリ養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連は、IT 技術の活用による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷等の新たな出荷体制に向けたテストを行うとともに、その実用化を図る。

#### ⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

- ・ カキ養殖業者、カキ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

#### ⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・ 養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・ 養殖業者は、協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・ 養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・ 養殖業者は、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】
- ・ なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・ 養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。
- ・ 漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

#### 【漁場環境改善】

#### ⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・ 養殖関係 JF は、各 JF 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・ 養殖業者、養殖関係 JF 及び JF 兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の促進」等を図る。【5】
- ・ ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係 JF、JF 兵庫漁連及び兵庫県

	<p>等は、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係 JF は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善ため海底耕耘を実施する。【5】</li> </ul> <p><b>【機能分担・連携】</b></p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係 JF は、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>【中核的担い手】</b></p> <p>⑩ 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係 JF は、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【6】【7】【8】【9】【10】【12】</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</li> <li>【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業</li> <li>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</li> <li>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</li> <li>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</li> <li>【5】 水産多面的機能発揮対策事業</li> <li>【6】 新規漁業就業者総合支援事業</li> <li>【7】 漁業収入安定対策事業</li> <li>【8】 漁業経営セーフティネット構築事業</li> <li>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</li> <li>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</li> <li>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</li> <li>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</li> <li>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</li> <li>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</li> </ul>

#### (5) 関係機関との連携

##### 【流通販売強化】

- ・ コープこうべ等の量販店や小売店との連携を強化し、定期的な水産物販売日の設定やスーパーの店舗内での対面販売などに取り組み、ノリ・ワカメ・カキ・アサリ・トラフグ・サーモンなどの県産養殖水産物の認知度向上と消費拡大を図る。
- ・ 漁協、漁連、農協の連携を強化し、JA ファーマーズショップへの販売促進を図る。
- ・ 県漁連、県水産課、県教育委員会、学校給食センター、コープこうべなどが参画する協議会等の活用により、学校給食への活用、小中学生への魚食普及、消費者ニーズに対応した新規加工品などの検討を進める。

##### 【機能再編、競争力強化】

- ・ 国内外の市場での価格競争力を高めるため、研究機関と連携を図り、生産技術の改良に取り組み、県産の養殖水産物のブランド化を進める。

##### 【漁場環境改善】

- ・ 瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生することを目指して、海域への栄養供給や農業者と漁業者等が連携して行う「ため池のかいぼり」、海底耕耘、沿海市町の下水処理場で冬季を中心に行われている「栄養塩管理運転」等、豊かな海づくりに関する取組を推進する。
- ・ 瀬戸内法の改正により、県が策定する「瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画」について、協議会に参画し、施策等の進捗状況の点検等を行う。

##### 【中核的担い手】

- ・ 漁協、県普及員、研究機関等との連携により、経営能力や漁労技術の向上に必要な情報を漁業者に発信するとともに、研修会等の支援を行う。

#### (6) 他産業との連携

- ・ 農林漁業者と食品産業、商工業、医療、福祉、観光など様々な分野の事業者、大学などの研究者が交流・連携し県産農林水産物を活用した新たな商品、サービスの開発や創造的な事業活動を支援する「農イノベーションひょうご」に参画し、異業種との交流に取り組む。

#### 4 成果目標

##### (1) 成果目標の考え方

- ・新商品の開発、販売の取組によって養殖水産物の魅力を発信し幅広い世代への魚食普及を図り、消費拡大に繋げていく計画としていることから、生産金額が多い「①ノリ及びカキの加工品の販売額」の増加を成果目標として設定する。
- ・また、持続的な養殖業の振興を図るため、ノリ柵数やカキ筏数などの適正管理とともに底質改善等の取組として海底耕耘を実施する計画としていることから、「②海底耕耘の実施面積」を成果目標として設定する。
- ・さらに、これらの取組を客観的に見るために、公的な統計データにより算出した「③養殖ノリ平均単価」、「④養殖カキ平均単価」を成果目標として設定する。
- ・漁業者の減少と高齢化が進む中で世代交代を円滑に進めるため、意欲ある若手漁業者の確保と育成を目指すことから、「⑤新規就業者数」を成果目標として設定する。

##### (2) 成果目標

①ノリ及びカキの加工品の販売額	基準年	令和元年度：ノリ 9,800 千円、カキ 43,700 千円
	目標年	令和7年度：ノリ 10,780 千円、カキ 48,070 千円
②海底耕耘の実施面積	基準年	令和元年度：1,525ha
	目標年	令和7年度：1,525ha(現状維持)
③養殖ノリ平均単価	基準年	平成26～30年度の5中3平均値：267円/kg
	目標年	令和7年度：280円/kg
④養殖カキ平均単価	基準年	平成26～30年度の5中3平均値：310円/kg
	目標年	令和7年度：325円/kg
⑤新規就業者数	基準年	平成22～令和元年度の平均値：41人
	目標年	令和7年度：41人(現状維持)

##### (3) 上記の算出方法及びその妥当性

- ①ノリ及びカキの加工品の販売額
- ・基準年は、兵庫県漁連、漁協などで開発されたノリ、カキの加工品のうち、令和元年度時点でひょうご食品認証制度を活用している商品やコープこうべ、イオン等の大型スーパー等で販売されている商品の販売額を基準に用いた。
  - ・目標年については、ノリ、カキの加工品の販売額を基準年に対して10%増加させる設定とした。
- ②海底耕耘の実施面積
- ・漁場環境改善のために実施している海底耕耘について、令和元年度時点における海底耕耘の実施面積を基準に用いた。
  - ・目標年については、海底耕耘の実施面積の現状維持を図ることとした。
- ③養殖ノリ平均単価
- ・基準年については、兵庫県農林水産統計の養殖ノリ生産量と生産額を用いて平均単価を算出し(平均単価=生産額/生産量)、H26～30年度の5中3平均値を用いた。
  - ・目標年については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上



<p>の取組により、5%向上させることを目標とした。</p> <p>④養殖カキ平均単価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の養殖カキ生産量と生産額を用いて平均単価を算出し（平均単価＝生産額／生産量）、H26～30年度の5中3平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上の取組により、5%向上させることを目標とした。</li> </ul> <p>⑤新規就業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県による新規漁業就業者数調査(H22～R1年度)の平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、就労支援事業等の活用により新規就業者の確保に努め現状維持を図ることとした。</li> <li>・漁船漁業と養殖業の複合経営を想定し、両者を区分せず包含した数値とした。</li> </ul>
--

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業	収入向上等の実証的な取組の推進
水産物輸出拡大緊急対策事業	流通販売体制等の強化
強い水産業づくり交付金（水産業強化支援事業）	流通販売体制等の強化及び基盤整備の推進
水産業競争力強化緊急施設整備事業	流通販売体制等の強化及び基盤整備の推進
水産業競争力強化漁港機能増進事業	本プランに基づく漁港の機能を増進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要となる漁港施設等を整備
沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業	適切な漁場管理の推進
水産多面的機能発揮対策事業	環境生態系保全と海の安全確保等の活動支援
新規漁業就業者総合支援事業	漁業への就労希望者を対象とした研修支援
漁業収入安定対策事業	資源管理に取組む漁業者の収入減少時に対する、積立金を活用した補助
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油・配合飼料の高騰に対する、積立金を活用した補助
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業	中核的漁業者の所得向上に必要な漁船等の円滑な導入推進
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	中核的漁業者の所得向上に必要な漁具等の円滑な導入推進
水産業競争力強化金融支援事業	漁船等購入時の借入に対する無利子化等の支援
水産業成長産業化沿岸地域創出事業	収益性の向上と適切な漁場管理の両立に必要な漁船等の円滑な導入促進
養殖業成長産業化提案公募型実証事業	需要に応じた適正な養殖業を実現に貢献する技術開発であると認定された養殖業技術開発計画に基づく技術開発・実証に必要な研究開発

水産業競争力強化漁港機能増進事業	本プランに基づく漁港の機能を増進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要となる漁港施設等の整備
------------------	--